

福井県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ) (変更) (案) に関する

県民パブリックコメント意見募集の結果

平成 2 2 年 9 月 2 4 日  
福井県農林水産部農林水産振興課

今回、「福井県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ) (変更) (案)」について、県民の皆様から御意見を募集したところ、次のような御意見をいただきました。

御意見をお寄せいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、公表にあたり、取りまとめの都合上、御意見と県の考え方を案件ごとに集約させていただきました。

いただいた御意見は、第 2 期福井県特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ) の変更や今後の施策の参考とさせていただきます。

1 募集期間

平成 2 2 年 8 月 3 0 日 (月) ~ 平成 2 2 年 9 月 1 2 日 (日)

2 意見件数 (意見提出者数)

県内在住の方からのご意見 1 1 件 (6 名)

3 提出された御意見の概要および県の考え方

別添資料のとおり

4 問い合わせ先

福井県農林水産部農林水産振興課鳥獣害対策室

電話番号 0 7 7 6 - 2 0 - 0 4 1 4

ファックス 0 7 7 6 - 2 0 - 0 6 4 9

E-mail nousin@pref.fukui.lg.jp

## 第2章3 各管理区域における保護管理の目標

意見の概要		意見に対する考え方
1	嶺南地域の捕獲目標数を上方修正することは良いことである。嶺南地域では、イノシシよりもシカの被害の方が深刻。シカにより植生が食い尽くされ土砂災害につながる恐れもある。早急に対応してほしい。	ご指摘の点は、本計画（案）の目的や主旨と合致するものと考えています。
2	嶺南地域の年間捕獲目標を6,000頭以上に引き上げることは良いが、オス：メスの捕獲割合が1：2となっている。現行の計画の4,000頭（オス：メス＝1：3）よりは、是正されているが、平成21年度捕獲実績では、オス：メス＝1：1.6となっている。メスに偏った捕獲が困難である。一方、メスの捕獲が重要であるので、合計数が6,000頭となっても、実際はシミュレーションどおり、個体数の低減につながらないのではないかと。	計画では、特に、個体数管理の上で効果の大きいメスの捕獲については、4,000頭以上を目標としています。メスを選択的に捕獲できる方法を検討するとともに、市町や狩猟団体等の理解と協力を得ながら、目標の達成を図ります。
3	丹生山地などでは、シカの数が非常に増えている。また池田町や大野市でも多いと聞く。生息数の状況把握を、林業関係者や登山者など多くの目を使って生息状況の把握につとめ、先手の対策をとることが重要。	今後、嶺北地域でも、年間捕獲目標の設定により個体数管理の対策ができるよう、生息情報の収集を検討します。

## 第2章4 シカの数の調整に関する事項

意見の概要		意見に対する考え方
4	狩猟者にとって、シカは魅力的な狩猟動物ではない。狩猟期間を延長しても狩猟数は伸びないのではないかと。	本計画の目標を達成させるため、狩猟者の協力のもと、狩猟による捕獲数を高めるとともに、計画的な有害捕獲により、シカの個体数調整を進めていきます。
5	狩猟期間の延長および捕獲頭数の制限を嶺南と同じにすることは賛同できる。県下一円同じであることは分りやすい。	ご指摘の点は、本計画（案）の目的や主旨と合致するものと考えています。
6	狩猟期の延長については、県民へ広く周知徹底をお願いします。	事故防止の観点から、狩猟期間について、県民のみなさまに周知徹底していきます。
7	銃器の使用は、安全上の配慮が必要であることは分かるが、わな猟のみの狩猟期の延長は、雪の多い奥越地域では、狩猟数の増加にはつながらないと考える。	一般の入山者の安全確保を最優先するために、延長する期間の狩猟については、わな猟のみとします。
8	鳥獣保護区での捕獲に関する制度を周知させる必要がある。鳥獣保護区は、有害捕獲許可により捕獲が可能であることなど。また、一般狩猟者から誤解を受け、不公平感をもたれないような説明が必要。	有害捕獲許可の業務を担当する市町や狩猟団体とも連携し、狩猟者や一般県民に対して、制度の周知に努めていきます。

## 第2章8 シカの資源的利用の促進

意見の概要		意見に対する考え方
9	シカの食肉利用を進めていただきたい。	ご指摘の点は、本計画（案）の目的や主旨と合致するものと考えています。

## 第2章9 その他保護管理のために必要な事項

意見の概要		意見に対する考え方
10	狩猟者人口の減少には、銃猟免許の新規取得及び更新が困難になってきていることも原因である。銃猟に関しては、農業者・公務員・JA職員に銃猟免許の取得をすすめてはどうか。	計画に記載したとおり、狩猟団体と協力し、銃による狩猟者の確保、育成に向けて、銃猟免許取得事前講習会の開催や研修会による技術向上等に努めていきます。
11	シカやイノシシが増加するとダニやヒルなどの寄生虫が増える。健康被害の心配もある。	計画を推進し、シカの個体数調整を行い被害軽減、防止に努めていきます。